

資料No. (登録日)	004 (2022. 03. 31.)	学校・学部 (報告者)	岩手大学教育学部附属特別支援 学校・高等部 (小原一志・藤川健・ 本間清香・菅原裕子)
製品 (作品) 名	小皿：小皿成形機		
製品 (作品) の概要と活用の展望 (3行)	<ul style="list-style-type: none"> ・タタラ作りの小皿。 ・醤油皿や手塩皿に使えるサイズのお皿。 ・釉薬によってさまざまな色のデザインで販売 		
製品 (作品) の写真 (9行)	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1; padding-right: 10px;"> <p>〈説明〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外寸 150mm×150 mm×20 mm ・施釉は白マット釉をベースにしている。 </div> <div style="flex: 2;">  <p style="text-align: center;">【あに和カラーの小皿】</p>  <p style="text-align: center;">【掛け分けと墨掛けの小皿】</p> </div> </div>		
製作の工程 (5行)	<ol style="list-style-type: none"> ①年度を 1200 g に計量する ②計量した粘土をタタラ機， 麺棒で 5 mm厚に伸ばす ③ガイドを使い， 皿の形に切る ④方に合わせて粘土を成形する ⑤乾燥後， 素焼き， 本焼きを行う 		
補助具の必要性と機能 (6行)	<ul style="list-style-type: none"> ・成形の際， 粘土に傷が付きやすくタタラの取扱いに技術を要するため製作する生徒が限定されることが多い。 ・タタラを石膏型に合わせる際， 中心が取りづらいため， 位置ぎめガイドを使用して， 石膏を一定の位置に置く必要がある。 		

補助具の写真 (10行)

〈説明〉

- ・木工班で不要となったボール盤と石膏型, ガイド用の木材を用いた。【写真1, 2】
- ・粘土をガイドに合わせて切り, お椀に乗せて成型機に設置し, ハンドル操作で石膏型を押し当てることで決まった形の皿を成型することができる。【写真3】
- ・石膏型にはボルトを埋め込んでおり, 付け替えができる。作りたい形のお椀で石膏型をとることで様々な形の成型も可能である。【写真4】
- ・土台のお椀に合わせてタタラを切り抜き, そのままひっくり返したものを成型機に設置する。ハンドルを操作することで成型が行えるため, 手指の巧緻性に課題のある生徒でも容易に成型を行うことができる。
- ・土台のお椀には穴を空け, 押し込んだ際に空気が抜ける仕様になっている。
- ・成型後は乾く前に土台のお椀から外し, 底を平らにする。その後乾燥し, 素焼き, 本焼きを行う。



【写真1】小皿成型機



【写真2】石膏型とガイドの木材



【写真3】使用例



【写真4】小皿の石膏型とお椀

備考 (2行)